

3月8日は『国際女性デー』です



毎月11日は「人権を確かめあう日」です

『国際女性デー』とは「女性の社会参加と地位向上を訴える日」のことです。

1904年3月8日にアメリカの女性労働者が婦人政権を求めて起こしたデモがきっかけだと言われていますが、こうした動きがヨーロッパやロシアなど世界中に広がり、1975年に国連は「女性の社会参加と地位向上を訴える日」とともに、「女性の素晴らしい活躍と、勇気ある行動を称える日」として、3月8日を『国際女性デー』に決めました。

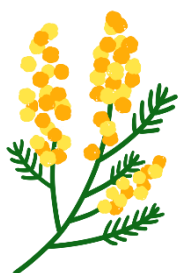
2024年の『国際女性デー』のテーマは、「女性に投資を。さらに発展させよう。」です。

生活のあらゆる側面において女性と少女の権利を確保することは、豊かで公平な経済を構築し、次世代のために健やかな地球を残すためには重要な事です。ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）平等は、すべての人々が尊重し合い、支え合う共生社会を構築するための土台です。女性のための進歩は、すべての人に利益をもたらすでしょう。



イタリアでは、この日は「ミモザの日」とも呼ばれ、男性が女性に日ごろの感謝を込めてミモザの花を贈る習慣があります。

ミモザとは、黄色くて小ぶりの、ふわふわとした印象の花です。黄色は春を象徴する色と言われており、厳しい寒さの冬を終え、暖かな春が来たことを告げる「幸せの象徴」とされています。またミモザの花ことばは「感謝」。女性への感謝を込めてミモザの花を贈る習慣は『国際女性デー』との関りのある素敵な行事と言えるでしょう。



この「ミモザの日」は世界各地に広がりを見せ、ミモザの色である黄色は『国際女性デー』のシンボルカラーとしても認知されるようになってきています。

この機会に女性たちの置かれている地位を見直し、性別による固定的役割分担意識にとらわれず、すべての人が平等に活躍できるジェンダー平等に向けて、自分たちに何ができるか考えてみませんか。

2024. 3

宇陀市人権啓発活動推進本部

※このピラへのご意見・ご感想は
☎0745-82-2147または jinken@city.uda.lg.jp

